

第1問

$x > 0$ で定義された関数 $f(x), g(x)$ を

$$f(x) = \left(1 + \frac{1}{x}\right)^x,$$

$$g(x) = \left(1 + \frac{1}{x}\right)^{x+\frac{1}{2}}$$

とおく. 任意の $x > 0$ に対して $f(x) > 0, g(x) > 0$ である.

1. $f(x) < e$ を示す.

$$f(x) = \left(1 + \frac{1}{x}\right)^x$$

の両辺の対数を取って微分すると,

$$\begin{aligned} \log f(x) &= x \log \left(1 + \frac{1}{x}\right) \\ &= x \{\log(x+1) - \log x\}, \\ (\log f(x))' &= \frac{f'(x)}{f(x)} = \log(x+1) - \log x + x \left(\frac{1}{x+1} - \frac{1}{x}\right) \\ &= \log(x+1) - \log x - \frac{1}{x+1}. \end{aligned}$$

ここで新たに右辺を $F(x)$ とおくと, その導関数は

$$\begin{aligned} F'(x) &= \frac{1}{x+1} - \frac{1}{x} + \frac{1}{(x+1)^2} \\ &= \frac{x - (x+1)}{x(x+1)} + \frac{1}{(x+1)^2} \\ &= \frac{-1}{x(x+1)^2} \end{aligned}$$

であり, 任意の $x > 0$ について $F'(x) < 0$, すなわち $F(x)$ は単調減少.

また, $\lim_{x \rightarrow \infty} F(x) = \lim_{x \rightarrow \infty} \left\{ \log \left(1 + \frac{1}{x}\right) - \frac{1}{x+1} \right\} = 0$ である.

よって, $x > 0$ で $F(x) > 0$. これと, $x > 0$ で $f(x) > 0$ であることより, $x > 0$ で $f'(x) = f(x)F(x) > 0$.

したがって, $f(x)$ は単調増加であり, $\lim_{x \rightarrow \infty} f(x) = e$ だから, $x > 0$ で $f(x) < e$ である.

第1問(つづき)

2. $e < g(x)$ を示す.

$$g(x) = \left(1 + \frac{1}{x}\right)^{x+\frac{1}{2}}$$

の両辺の対数を取って微分すると,

$$\begin{aligned} \frac{g'(x)}{g(x)} &= \log(x+1) - \log x + \left(x + \frac{1}{2}\right) \left(\frac{1}{x+1} - \frac{1}{x}\right) \\ &= \log(x+1) - \log x - \left(x + \frac{1}{2}\right) \frac{1}{x(x+1)}. \end{aligned}$$

ここで新たに右辺を $G(x)$ とおくと, その導関数は

$$\begin{aligned} G'(x) &= \frac{1}{x+1} - \frac{1}{x} - \left(\frac{x + \frac{1}{2}}{x(x+1)}\right)' \\ &= \frac{-1}{x(x+1)} - \frac{x(x+1) - (x + \frac{1}{2})(2x+1)}{(x(x+1))^2} \\ &= \frac{-x(x+1) + x^2 + x + \frac{1}{2}}{x^2(x+1)^2} \\ &= \frac{1}{2x^2(x+1)^2} \end{aligned}$$

であり, 任意の $x > 0$ について $G'(x) > 0$, すなわち $G(x)$ は単調増加.

また, $\lim_{x \rightarrow \infty} G(x) = \lim_{x \rightarrow \infty} \left\{ \log\left(1 + \frac{1}{x}\right) - \frac{x + \frac{1}{2}}{x(x+1)} \right\} = 0$ である.

よって, $x > 0$ で $G(x) < 0$. これと, $x > 0$ で $g(x) > 0$ であることより, $x > 0$ で $g'(x) = g(x)G(x) < 0$.

したがって, $g(x)$ は単調減少であり,

$$\lim_{x \rightarrow \infty} g(x) = \lim_{x \rightarrow \infty} \left(1 + \frac{1}{x}\right)^{x+\frac{1}{2}} = \lim_{x \rightarrow \infty} \left(1 + \frac{1}{x}\right)^x \left(1 + \frac{1}{x}\right)^{\frac{1}{2}} = e$$

だから, $x > 0$ で $e < g(x)$ である.

以上1., 2. より, すべての正の実数 x について $f(x) < e < g(x)$, すなわち

$$\left(1 + \frac{1}{x}\right)^x < e < \left(1 + \frac{1}{x}\right)^{x+\frac{1}{2}}$$

が成り立つ.

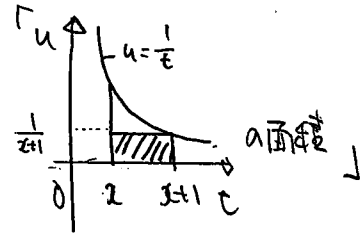
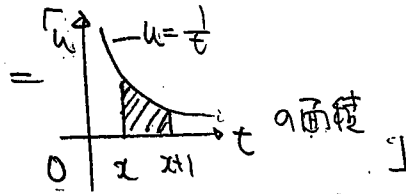
(証明終り)

第1問 (つづき)

③ $F(x) > 0, G(x) < 0$ は次のように考えることもできる。

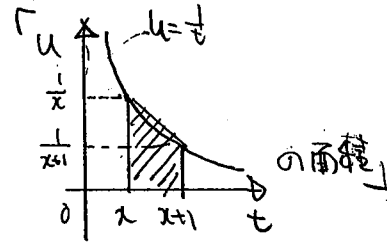
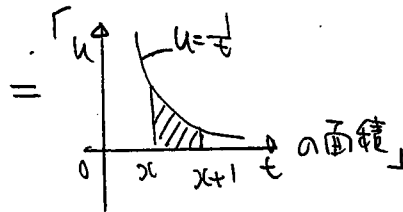
$u = \frac{1}{t}$ ($t > 0$) のグラフが下に凸であることに注意する

$$F(x) = \int_x^{x+1} \frac{1}{t} dt - \frac{1}{x+1}$$



$> 0.$

$$G(x) = \int_x^{x+1} \frac{1}{t} dt - \frac{1}{2} \left(\frac{1}{x} + \frac{1}{x+1} \right)$$



$< 0.$

第2問

(1) 1試合目にAが勝つか、Bが勝つかで分けると、勝者が連続しないときは、各試合における勝者と敗者は次の表ようになる。

(i) 1試合目にAが勝つとき、

試合目	1	2	3	4	...
勝者	A	C	B	A	C
敗者	B	A	C	B	A

(ii) 1試合目にBが勝つとき、

試合目	1	2	3	4	...
勝者	B	C	A	B	C
敗者	A	B	C	A	B

これから、4回目以降はともに の部分が繰り返すことになる。よって、Aが2回続けて勝つのは、

(i) のときは、

試合目	1	2	3	4	5	6	7	...	3 <i>l</i> +1	3 <i>l</i> +2
勝者	A	C	B	A	C	B	A	...	A	A
敗者	B	A	C	B	A	C	B	...	B	C

($l \geq 0$)

(ii) のときは、

試合目	1	2	3	4	5	6	7	...	3 <i>l</i>	3 <i>l</i> +1
勝者	B	C	A	B	C	A	B	...	A	A
敗者	A	B	C	A	B	C	A	...	C	B

($l \geq 1$)

となる場合に限る。各回起こる確率が $\frac{1}{2}$ なので、ちょうど n 試合目でAが優勝する確率 p_n は、

(i) のとき $n = 3l + 2$ として、 $\left(\frac{1}{2}\right)^{3l+2}$ ($l \geq 0$)、(ii) のとき $n = 3l + 1$ として、 $\left(\frac{1}{2}\right)^{3l+1}$ ($l \geq 1$)。

また、 $n = 3l$ ($l \geq 1$) と $n = 1$ のときは確率は0となる。よって、2以上の整数 n に対して、

$$p_n = \begin{cases} \left(\frac{1}{2}\right)^n & (n \text{ が } 3 \text{ の倍数でないとき}), \\ 0 & (n \text{ が } 3 \text{ の倍数のとき}) \end{cases} \quad \dots(\text{答})$$

(2) $3m$ 回以下でAが優勝する事象を X 、 $3m$ 回以下でAが優勝し、その最後の対戦相手がBである事象を Y とすると、求める条件付き確率は、 $P_X(Y) = \frac{P(X \cap Y)}{P(X)}$ 。

$m \geq 2$ のとき、

$$P(X) = \sum_{i=0}^{m-1} p_{3i+2} + \sum_{i=1}^{m-1} p_{3i+1} = \sum_{i=0}^{m-1} \left(\frac{1}{2}\right)^{3i+2} + \sum_{i=1}^{m-1} \left(\frac{1}{2}\right)^{3i+1} = \frac{1}{4} \left\{ 1 - \left(\frac{1}{8}\right)^m \right\} + \frac{1}{16} \left\{ 1 - \left(\frac{1}{8}\right)^{m-1} \right\}$$

$$= \frac{1}{14} \left\{ 5 - 12 \left(\frac{1}{8}\right)^m \right\} \quad \dots(*)$$

ここで、 $P(X \cap Y)$ は (1)(ii) のときの確率の和であることから、

$$P(X \cap Y) = \sum_{i=1}^{m-1} p_{3i+1} = \sum_{i=1}^{m-1} \left(\frac{1}{2}\right)^{3i+1} = \frac{1}{16} \left\{ 1 - \left(\frac{1}{8}\right)^{m-1} \right\} = \frac{1}{14} \left\{ 1 - 8 \left(\frac{1}{8}\right)^m \right\} \quad \dots(**)$$

また、 $m = 1$ のとき、 $P(X) = p_2 = \left(\frac{1}{2}\right)^2$ 、 $P(X \cap Y) = 0$ であるから $m = 1$ のときも (*), (**) は成立する。

第2問(つづき)

よって、求める条件付き確率は、

$$P_{X|Y} = \frac{\frac{1}{14} \left\{ 1 - 8 \left(\frac{1}{8} \right)^m \right\}}{\frac{1}{14} \left\{ 5 - 12 \left(\frac{1}{8} \right)^m \right\}} = \frac{1 - 8 \left(\frac{1}{8} \right)^m}{5 - 12 \left(\frac{1}{8} \right)^m} = \frac{8^m - 8}{5 \cdot 8^m - 12}. \quad \dots(\text{答})$$

第3問

直線 P_1Q, P_2Q, P_3Q の方向ベクトルの1つとして、それぞれ $\overrightarrow{P_1Q}, \overrightarrow{P_2Q}, \overrightarrow{P_3Q}$ をとり、 s, t, u を媒介変数として直線 P_iQ ($i=1, 2, 3$) の媒介変数表示は次のように書ける。

直線 $P_1Q: \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} = \overrightarrow{OQ} + s \begin{pmatrix} -1 \\ 0 \\ a-1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -s \\ 0 \\ (a-1)s+a \end{pmatrix},$

直線 $P_2Q: \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} = \overrightarrow{OQ} + t \begin{pmatrix} -1 \\ -1 \\ a-1 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -t \\ -t \\ (a-1)t+a \end{pmatrix},$

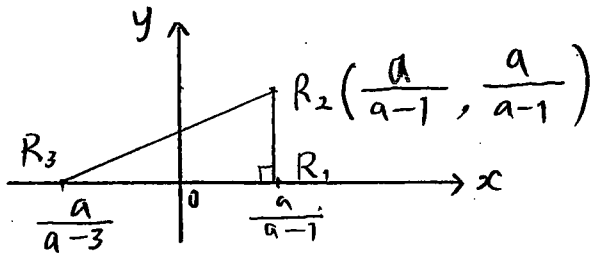
直線 $P_3Q: \begin{pmatrix} x \\ y \\ z \end{pmatrix} = \overrightarrow{OQ} + u \begin{pmatrix} -1 \\ 0 \\ a-3 \end{pmatrix} = \begin{pmatrix} -u \\ 0 \\ (a-3)u+a \end{pmatrix}.$

それぞれの式で $z=0$ とおき、

$s = t = \frac{-a}{a-1}, u = \frac{-a}{a-3}$ を得て、 $R_1\left(\frac{a}{a-1}, 0, 0\right)$

$R_2\left(\frac{a}{a-1}, \frac{a}{a-1}, 0\right), R_3\left(\frac{a}{a-3}, 0, 0\right)$ である。

$1 < a < 3$ に注意して $\triangle R_1R_2R_3$ を xy 平面に図示すると、



図より $\triangle R_1R_2R_3$ は直角三角形であり、

$$S(a) = \frac{1}{2} \cdot \frac{a}{a-1} \left(\frac{a}{a-1} - \frac{a}{a-3} \right) = -\frac{a^2}{(a-1)^2(a-3)}.$$

第3問(フツキ)

$S(a)$ ($1 < a < 3$) の増減を調べる.

$$\begin{aligned}
 & S'(a) \\
 &= -\frac{(a^2)' \{(a-1)^2(a-3)\} - a^2 \{(a-1)^2(a-3)\}'}{\{(a-1)^2(a-3)\}^2} \\
 &= \frac{a(a-1)(a^2+a-6)}{(a-1)^4(a-3)^2} \\
 &= \frac{a(a-2)(a+3)}{(a-1)^3(a-3)^2}
 \end{aligned}$$

$1 < a < 3$ だから, $S'(a)$ の符号は $a-2$ の符号と等しく, 次の増減表を得る

a	1	--	2	--	3
$S'(a)$		-	0	+	
$S(a)$		↓		↑	

増減表より $S(a)$ は $a=2$ で最小値をとり, そのとき

$$S(2) = -\frac{2^2}{(2-1)^2(2-3)} = 4 \text{ である. } \dots (\text{答})$$

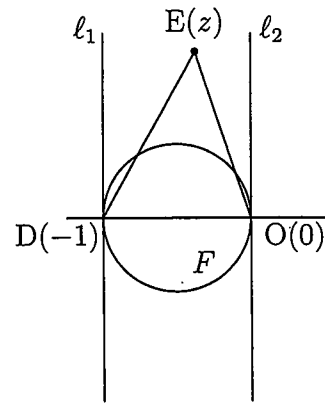
第4問

$z = 1$ の場合は3点 A, B, C は一致して、三角形を作らない。
 以下 $z \neq 1$ とする。
 -1 だけ平行移動すると、3点は $0, z-1, z^2-1$ になる。
 これらを $z-1$ で割ると $0, 1, z+1$ になる。
 $z-1$ で割る操作は回転と拡大・縮小の合成なので、 $0, 1, z+1$ を頂点に持つ三角形は、もとの三角形と相似である。
 -1 だけ平行移動すると、3点は $D(-1), O(0), E(z)$ になる。
 DOE が鋭角三角形になる条件を求めれば良い。

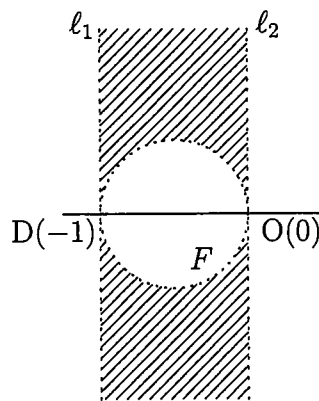
DOE が三角形をなす $\iff E$ は直線 DO 上にない
 である。以下、この条件を仮定する。

DO を直径とする円周を F 、
 直線 DO に垂直な D を通る直線を l_1 、
 直線 DO に垂直な O を通る直線を l_2 とする。

- $\angle OED < \frac{\pi}{2} \iff E$ が F の外側にある。
- $\angle EDO < \frac{\pi}{2} \iff E$ が l_1 に関して O と同じ側にある。
- $\angle DOE < \frac{\pi}{2} \iff E$ が l_2 に関して D と同じ側にある。



以上より、求める z の範囲は次図の斜線部である。ただし、境界は含まない。



.....(答)

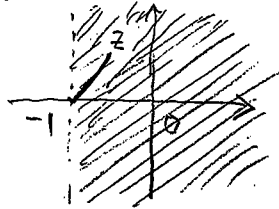
第4問 (つづき)

(参考) 次のように考えよ。 (以下、偏角 θ は $-180^\circ < \theta \leq 180^\circ$ とする)

$$\angle A \text{ が鋭角} \Leftrightarrow \left| \arg \frac{z^2-1}{z-1} \right| = \left| \arg(z+1) \right| < 90^\circ$$

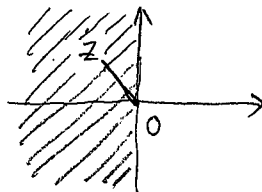
$$\Leftrightarrow \left| \arg(z-(-1)) \right| < 90^\circ$$

\Leftrightarrow



$$\angle B \text{ が鋭角} \Leftrightarrow \left| \arg \frac{z^2-z}{1-z} \right| = \left| \arg(-z) \right| < 90^\circ$$

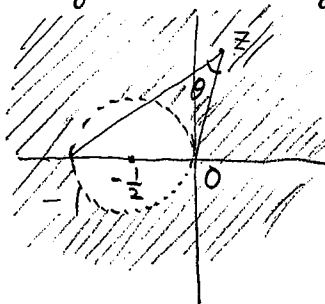
\Leftrightarrow



$$\angle C \text{ が鋭角} \Leftrightarrow \left| \arg \frac{1-z^2}{z-z^2} \right| = \left| \arg \frac{1+z}{z} \right| < 90^\circ$$

$$\Leftrightarrow \left| \arg(z-(-1)) - \arg z \right| < 90^\circ$$

\Leftrightarrow



($\theta < 90^\circ$)

よって、これらの共通部分が答。

第4問 (別解)

$z = x + yi$ (x, y は実数) とおくと, 点 C を表す複素数は

$$z^2 = x^2 - y^2 + 2xyi$$

であるから, xy 平面における3点

$$A(1, 0), B(x, y), C(x^2 - y^2, 2xy)$$

が鋭角三角形の頂点をなすための条件を x, y で表すことを考える.

まず A, B, C が同一直線上にないことが必要であるが,

$$\begin{aligned} \overrightarrow{AB} &= \overrightarrow{OB} - \overrightarrow{OA} = (x - 1, y), \\ \overrightarrow{AC} &= \overrightarrow{OC} - \overrightarrow{OA} = (x^2 - y^2 - 1, 2xy) \end{aligned} \quad \dots \textcircled{1}$$

より, A, B, C が同一直線上にある条件は,

$$\begin{aligned} (x - 1) : y &= (x^2 - y^2 - 1) : 2xy. \\ (x - 1) \cdot 2xy - y(x^2 - y^2 - 1) &= 0. \\ y(x^2 + y^2 - 2x + 1) &= 0. \\ y \{ (x - 1)^2 + y^2 \} &= 0. \end{aligned}$$

すなわち, $y = 0$ または $(x, y) = (1, 0)$ であるから, 以下ではこれが成り立たない, つまり

$$y \neq 0 \quad \text{かつ} \quad (x, y) \neq (1, 0) \quad \dots \textcircled{2}$$

のもとで考える.

①より,

$$\begin{aligned} \overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC} &= (x - 1)(x^2 - y^2 - 1) + y \cdot 2xy \\ &= (x + 1)y^2 + (x - 1)(x^2 - 1) \quad (y \text{ について整理した}) \\ &= (x + 1) \{ (x - 1)^2 + y^2 \} \end{aligned}$$

であり, ②のもとでは $(x - 1)^2 + y^2 > 0$ となることに注意すると, $\angle BAC$ が鋭角となる, すなわち \overrightarrow{AB} と \overrightarrow{AC} のなす角が鋭角となる条件は,

$$\begin{aligned} \overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{AC} &> 0. \\ x + 1 &> 0. \\ x &> -1. \end{aligned} \quad \dots \textcircled{3}$$

$\angle ABC$ が鋭角となる条件, および $\angle ACB$ が鋭角となる条件も同様に考えることができるので, ①と

$$\overrightarrow{BC} = \overrightarrow{OC} - \overrightarrow{OB} = (x^2 - y^2 - x, 2xy - y)$$

より,

$$\begin{aligned} \overrightarrow{BA} \cdot \overrightarrow{BC} &= -\overrightarrow{AB} \cdot \overrightarrow{BC} \\ &= -(x - 1)(x^2 - y^2 - x) - y(2xy - y) \\ &= -xy^2 - x^3 + 2x^2 - x \quad (y \text{ について整理した}) \\ &= -x(y^2 + x^2 - 2x + 1) \\ &= -x \{ (x - 1)^2 + y^2 \}, \end{aligned}$$

第4問 (別解つづき)

$$\begin{aligned}
 \vec{CA} \cdot \vec{CB} &= (-\vec{AC}) \cdot (-\vec{BC}) \\
 &= (x^2 - y^2 - 1)(x^2 - y^2 - x) + 2xy(2xy - y) \\
 &= y^4 + (2x^2 - x + 1)y^2 + (x^2 - 1)(x^2 - x) \quad (y \text{ について整理した}) \\
 &= y^4 + (2x^2 - x + 1)y^2 + (x^2 + x)(x^2 - 2x + 1) \\
 &= (y^2 + x^2 + x)(y^2 + x^2 - 2x + 1) \\
 &= \left\{ \left(x + \frac{1}{2}\right)^2 + y^2 - \frac{1}{4} \right\} \{(x-1)^2 + y^2\}
 \end{aligned}$$

となることを用いれば, 残りの条件は

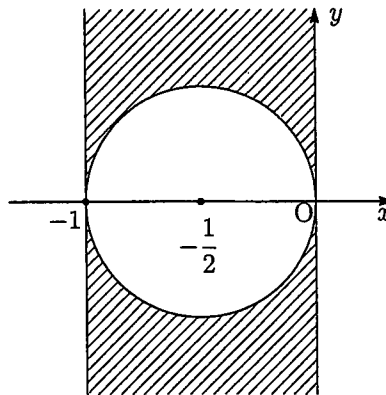
$$\begin{aligned}
 \vec{BA} \cdot \vec{BC} &> 0, \\
 x &< 0
 \end{aligned} \quad \dots \textcircled{4}$$

および

$$\begin{aligned}
 \vec{CA} \cdot \vec{CB} &> 0, \\
 \left(x + \frac{1}{2}\right)^2 + y^2 - \frac{1}{4} &> 0, \\
 \left(x + \frac{1}{2}\right)^2 + y^2 &> \frac{1}{4}
 \end{aligned} \quad \dots \textcircled{5}$$

である.

以上②~⑤より, 複素数平面上的点 z , すなわち xy 平面上的点 (x, y) の存在範囲は次図の斜線部のようになり, 境界を除く.



...(答)

第5問

$\alpha = 0.a_1a_2\cdots a_k$ とおく.

- (1) 与えられた不等式は $10^k + \alpha \leq \sqrt{n} < 10^k + \alpha + 10^{-k}$ と変形できる. この不等式の左辺, 中辺, 右辺はすべて正なので, 各辺を2乗しても同値. よって $(10^k + \alpha)^2 \leq n < (10^k + \alpha + 10^{-k})^2$ をみたす正の整数 n を求めればよい.

$$(10^k + \alpha)^2 = 10^{2k} + 2 \cdot 10^k \alpha + \alpha^2,$$

$$(10^k + \alpha + 10^{-k})^2 = 10^{2k} + 2 \cdot 10^k (\alpha + 10^{-k}) + (\alpha + 10^{-k})^2$$

であり,

$$10^k \alpha = 10^{k-1} a_1 + 10^{k-2} a_2 + \cdots + a_k,$$

$$10^k (\alpha + 10^{-k}) = 10^k \alpha + 1$$

はともに正の整数である.

また, $0 < \alpha < 1, 0 < \alpha + 10^{-k} \leq 1$ より

$$0 < \alpha^2 < 1, \quad 0 < (\alpha + 10^{-k})^2 \leq 1$$

である.

よって求める n は

$$10^{2k} + 2(10^{k-1} a_1 + 10^{k-2} a_2 + \cdots + a_k) + 1,$$

$$10^{2k} + 2(10^{k-1} a_1 + 10^{k-2} a_2 + \cdots + a_k) + 2 \quad \dots (\text{答})$$

の2つである.

- (2) (1)と同様にして, 与えられた不等式は $(p + \alpha)^2 \leq m < (p + \alpha + 10^{-k})^2$ と同値. この右辺と左辺の差は

$$(p + \alpha + 10^{-k})^2 - (p + \alpha)^2 = 10^{-k} (2p + 2\alpha + 10^{-k})$$

$$\geq 10^{-k} \cdot 2p$$

$$\geq 10^{-k} \cdot 2 \cdot 5 \cdot 10^{k-1} = 1$$

となるので, 不等式をみたす正の整数 m が存在する. (証明終り)

- (3) $\sqrt{s} - [\sqrt{s}] = \alpha$ をみたす正の整数 s が存在したと仮定する. $[\sqrt{s}]$ は整数, α は有理数なので \sqrt{s} は有理数. よって互いに素な正の整数 M, N を用いて $\sqrt{s} = \frac{N}{M}$ とかける. このとき $s = \frac{N^2}{M^2}$ は整数であり, M^2, N^2 は互いに素なので $M^2 = 1$ を得る. したがって $M = 1$ なので $\sqrt{s} = N$ は整数であり, $\sqrt{s} - [\sqrt{s}] = 0$ となるので矛盾. よって条件をみたす正の整数 s は存在しない. (証明終り)

第6問

$A(X, Y, 0), B(x, y, z)$ とすると, 条件 (b) から線分 AB 上に C があるので,

$$\vec{CB} = k\vec{AC} \quad (k \geq 0)$$

をみたす k がある.

$$(x, y, z - 1) = k(-X, -Y, 1)$$

より $k = z - 1$ であり, $z \neq 1$ のとき $X = \frac{x}{1 - z}, Y = \frac{y}{1 - z}$.

$z \neq 1$ のとき, $AB^2 = 4$ より,

$$\begin{aligned} \left(\frac{x}{1-z} - x\right)^2 + \left(\frac{y}{1-z} - y\right)^2 + z^2 &= 4. \\ \left(\frac{xz}{1-z}\right)^2 + \left(\frac{yz}{1-z}\right)^2 + z^2 &= 4. \\ (x^2 + y^2)z^2 &= (4 - z^2)(1 - z)^2. \end{aligned}$$

$z \neq 0$ なので,

$$x^2 + y^2 = \frac{(4 - z^2)(1 - z)^2}{z^2}. \tag{1}$$

$z = 1$ のときは $B = C = (0, 0, 1)$ になるはずだが, (1) で $z = 1$ とすると $x^2 + y^2 = 0$ から $x = y = 0$ となるので, (1) は $z = 1$ のときも成り立つ.

また $x^2 + y^2 \geq 0$ より (1) をみたす x, y が存在するのは $4 - z^2 \geq 0$ のとき. したがって $z \leq 2$ とあわせて

$$1 \leq z \leq 2. \tag{2}$$

K のうち $z \geq 1$ の部分は, 点 B が動いてできる曲面で囲まれた領域になる. つまり, 平面 $z = t$ での切り口は (1) から円になり, (2) より $1 \leq t \leq 2$ である.

よって K の $z \geq 1$ の部分の体積は,

$$\begin{aligned} \pi \int_1^2 \frac{(4 - z^2)(1 - z)^2}{z^2} dz &= \pi \int_1^2 \left(-z^2 + 2z + 3 - \frac{8}{z} + \frac{4}{z^2}\right) dz \\ &= \pi \left[-\frac{z^3}{3} + z^2 + 3z - 8 \log z - \frac{4}{z}\right]_1^2 \\ &= \left(\frac{17}{3} - 8 \log 2\right) \pi. \quad \dots (\text{答}) \end{aligned}$$

第6問 (別解)

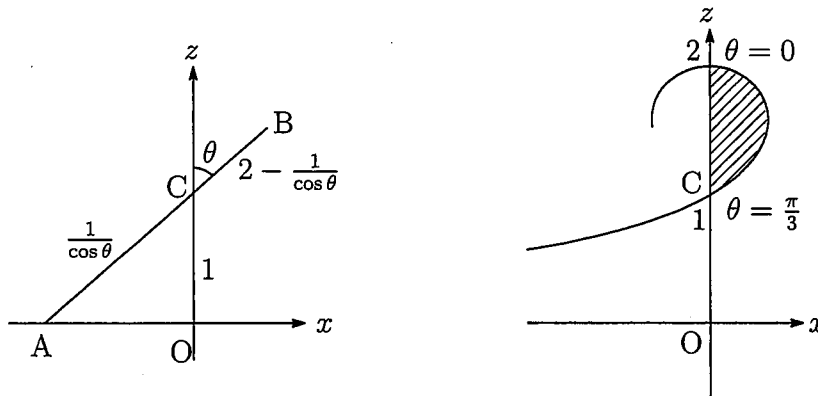
問題の立体 K は z 軸を軸とする回転体であるから、まず、線分 AB が xz 平面上かつ A が $x \leq 0$ の部分にある場合を考える。

\overline{AB} と z 軸の正方向のなす角を θ とおくと $0 \leq \theta \leq \frac{\pi}{3}$ である。

$AC = \frac{1}{\cos \theta}$ であるから、 $CB = 2 - \frac{1}{\cos \theta}$ となる。

よって、 xz 平面上で $B \left(\left(2 - \frac{1}{\cos \theta} \right) \sin \theta, 2 \cos \theta \right)$ となる。

C を極、 z 軸の $z \geq 1$ の部分を始線とする極方程式で表わすと、 B の軌跡は $r = 2 - \frac{1}{\cos \theta}$ で表すことができる。



K は、線分 CB が通過する部分を z 軸で回転して得られる立体であるから、

$$\begin{aligned} V &= \int_1^2 \pi x^2 dz = \int_{\frac{\pi}{3}}^0 \pi \left\{ \left(2 - \frac{1}{\cos \theta} \right) \sin \theta \right\}^2 (-2 \sin \theta) d\theta \\ &= 2\pi \int_{\frac{\pi}{3}}^0 \left(2 - \frac{1}{\cos \theta} \right)^2 (1 - \cos^2 \theta) (-\sin \theta) d\theta. \end{aligned}$$

$\cos \theta = u$ と置換すると、

$$\begin{aligned} V &= 2\pi \int_{\frac{1}{2}}^1 \left(2 - \frac{1}{u} \right)^2 (1 - u^2) du = 2\pi \int_{\frac{1}{2}}^1 \left(4 - \frac{4}{u} + \frac{1}{u^2} \right) (1 - u^2) du \\ &= 2\pi \int_{\frac{1}{2}}^1 \left(-4u^2 + 4u + 3 - \frac{4}{u} + \frac{1}{u^2} \right) du \\ &= 2\pi \left[-\frac{4}{3}u^3 + 2u^2 + 3u - 4 \log u - \frac{1}{u} \right]_{\frac{1}{2}}^1 \\ &= 2\pi \left\{ \left(-\frac{4}{3} + 2 + 3 - 1 \right) - \left(-\frac{1}{6} + \frac{1}{2} + \frac{3}{2} - 4 \log \frac{1}{2} - 2 \right) \right\} \\ &= 2\pi \left\{ \frac{8}{3} - \left(-\frac{1}{6} + 4 \log 2 \right) \right\} = \left(\frac{17}{3} - 8 \log 2 \right) \pi. \end{aligned}$$

……(答)